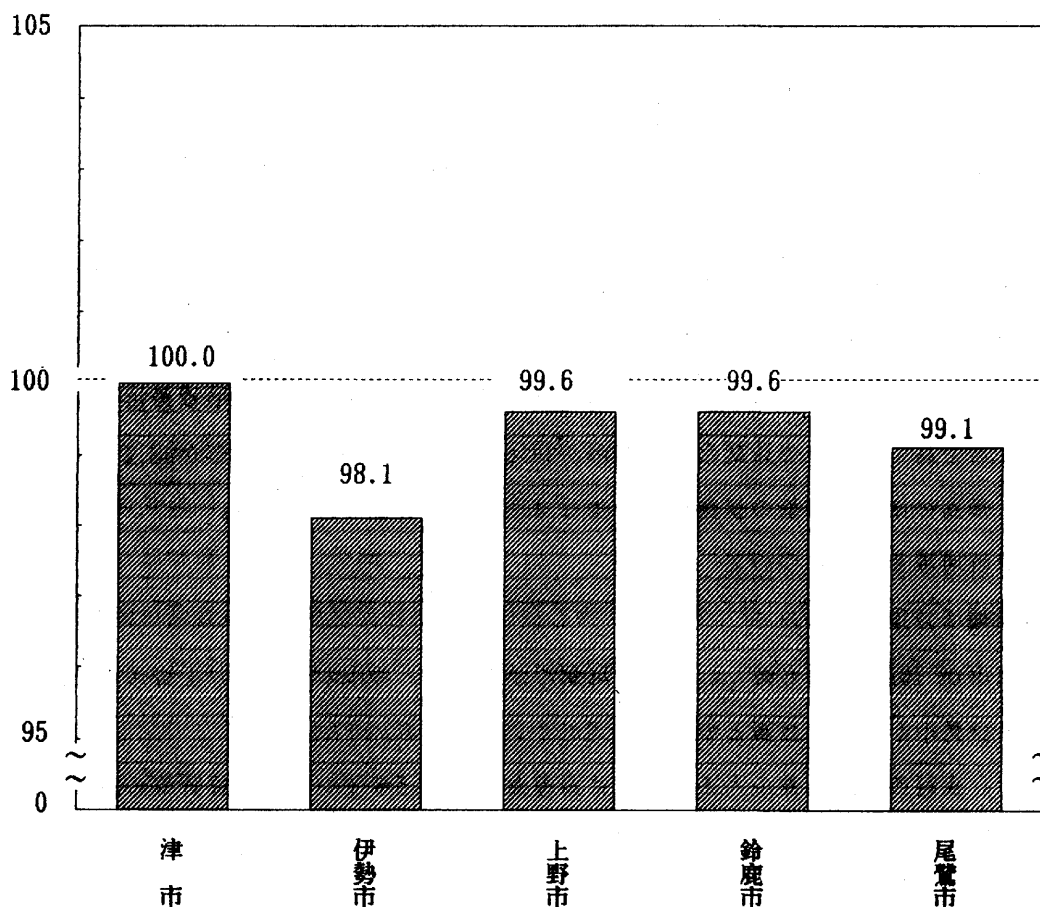


# 三重県消費者物価地域差指数

図1 三重県消費者物価地域差指数（平成3年平均）

津市 = 100



## I 三重県消費者物価地域差指数の概要

三重県においては、昭和26年から三重県消費者物価指数を作成しているが、そのままでは地域間の物価水準を比較することができないので、都市相互間の物価差をはかる目的で三重県消費者物価地域差指数を作成している。この指数は、津市の消費生活を基準として比較都市の物価で営んだ場合に、その生活費用は基準都市（津市）に対してどれほどの地域差があるかをみたものである。

### 1 価格資料

消費者物価指数と同じ5市における小売物価統計調査によって調査された小売価格である。

なお、5市共通の銘柄に統一できない品目は、指数計算から除外した。

### 2 ウェイト

指数計算に用いるウェイトは、作成年における津市の家計調査の品目別支出金額である。

### 3 平均価格

都市別価格は、上記価格資料を用いて生鮮食品以外については、1月から12月の単純算術平均により、生鮮食品については各市の月別ウェイトによる加重算術平均により求めている。

#### 4 算式

津市のウェイトによる加重算術平均式を用いた。すなわち、各品目の比較地域価格  $P_h$ 、基準都市（津市）価格  $P_o$ 、基準地域ウェイト  $W_o$  とすれば算式は次のように表される。

$$I_h = \frac{\sum \frac{P_h}{P_o} W_o}{\sum W_o}$$

#### 5 調査都市

津市、伊勢市、上野市、鈴鹿市、尾鷲市の5市である。

#### II 平成3年三重県消費者物価地域差指数の結果のあらまし

##### 1 総合地域差指数（持家の帰属家賃を除く）

調査した5市の地域差指数について、基準都市津市を100とした総合地域差指数をみると、津市が100.0で最も高く、次いで鈴鹿市と上野市が99.6、尾鷲市が99.1、伊勢市が98.1となっている。

なお、最高の津市と最低の伊勢市との差は1.9ポイントとなっている。

##### 2 10大費目地域差指数について

###### (1) 食料地域差指数について

鈴鹿市が102.8で最も高く、次いで尾鷲市が101.5、津市が100.0、上野市が99.9となっており、最低の伊勢市が96.0で最高との差は6.8ポイントである。

なお、食料のうち格差の大きい費目は調理食品の35.5ポイント、生鮮野菜の32.5ポイント、肉類の15.5ポイントとなっている。

###### (2) 住居地域差指数について

上野市が103.5で最も高く、次いで鈴鹿市が103.1、伊勢市が102.5、津市が100.0となっており、最低の尾鷲市が84.9で最高との差は18.2ポイントである。

###### (3) 光熱・水道地域差指数について

上野市が108.0で最も高く、次いで尾鷲市が105.3、鈴鹿市が104.5、伊勢市が104.0となっており、最低の津市が100.0で最高との差は8.0ポイントである。

###### (4) 家具・家事用品地域差指数について

上野市が100.6で最も高く、次いで津市が100.0、伊勢市が99.4、鈴鹿市が95.5となっており、最低の尾鷲市が98.2で最高との差は2.4ポイントである。

###### (5) 被服及び履物地域差指数について

津市が100.0で最も高く、次いで鈴鹿市が89.2、伊勢市が85.7、尾鷲市が81.2となっており、最低の上野市が78.6で最高との差は21.4ポイントである。

###### (6) 保健・医療地域差指数について

上野市が104.0で最も高く、次いで尾鷲市が101.3、鈴鹿市が101.2、津市が100.0となっており、最低の伊勢市が96.5で最高との差は7.5ポイントである。

(7) 交通・通信地域差指数について

尾鷲市が100.6で最も高く、次いで伊勢市、上野市が100.2、津市が100.0となっており、最低の鈴鹿市が99.6で最高との差は1.0ポイントである。

(8) 教育地域差指数について

上野市が130.0で最も高く、次いで尾鷲市が115.3、伊勢市が115.0、鈴鹿市が102.4となっており、最低の津市が100.0で最高との差は30.0ポイントである。

(9) 教養娯楽地域差指数について

伊勢市が100.4で最も高く、次いで津市が100.0、上野市が98.7、尾鷲市が98.3となっており、最低の鈴鹿市が96.0で最高との差は4.4ポイントである。

(10) 諸雑費地域差指数について

伊勢市が100.3で最も高く、次いで津市が100.0、尾鷲市が99.5、上野市が98.6となっており、最低の鈴鹿市が98.0で最高との差は2.3ポイントである。

○ 生鮮食品を除く総合地域差指数では、最高が津市と上野市の100.0、最低が尾鷲市の98.5で、最高と最低との差は1.5ポイントである。

○ 全国及び東京都区部と5市の比較

総務庁統計局の発表による県庁所在都市の消費者物価地域差指数（全国平均及び東京都区部を基準としたもの）と県調査の結果をもとに全国及び東京都区部と5市を比較してみると、次のとおりである。

(1) 全国平均を基準（100）としたもの

区 分	全国平均	津 市	伊 勢 市	上 野 市	鈴 鹿 市	尾 鷲 市
総 合	100.0	100.1	98.2	99.7	99.7	99.2
食 料	100.0	102.7	98.6	102.6	105.6	104.2
家賃を除く総合	100.0	100.9	99.1	100.5	100.6	99.7

（注）一枠内が総務庁統計局の発表による地域差指数

全国平均の地域差指数を100として県調査の結果を置き換えてみると、総合地域差指数では津市が100.1と全国を上回っているが、他の4市は全国を下回っている。

(2) 東京都区部を基準（100）としたもの

区 分	東京都区部	津 市	伊 勢 市	上 野 市	鈴 鹿 市	尾 鷲 市
総 合	100.0	89.4	87.7	89.0	89.0	88.6
食 料	100.0	95.1	91.3	95.0	97.8	96.5
家賃を除く総合	100.0	92.8	91.1	92.4	92.5	91.7

（注）一枠内が総務庁統計局の発表による地域差指数

東京都区部の地域差指数を100として県調査の結果を置き換えてみると、総合地域差指数及び食料地域差指数とも全市が東京都区部を下回っている。